

災害から身を守るために

vol.4 「いざ」という時に…地震編(PART3)



地震編の三回目となる今回は、本
地域において平成三十二年ころまで
に、高い確率で発生すると予想され
ている地震の規模などについてお知
らせします。

政府の特別機関である地震調査研
究推進本部地震調査委員会の研究成
果により、宮城県沖地震の長期評価
が公表され、平成三十二年ころまで
に、強い地震が発生する確率が高い
という報告がなされました。
以下は、地震調査委員会の公表内
容です。

1 宮城県沖地震の長期評価

平成十二年十月三十一日発表の評
価内容(概略)

発生確率

- ①二〇二〇年末まで 八一%
 - ②二〇三〇年末まで 九八%
- 地震の規模 マグニチュード七・

五前後

※三陸沖南部海溝寄り地震との連動
の場合はマグニチュード八・〇前後

地震活動の状況

平均活動間隔は三七・一年で、最新
の地震活動から、二〇〇二年一月一
日現在で二三・六年経過している

2 三陸沖南部海溝寄り地震の長期 評価

平成十四年七月三十一日に発表さ
れた評価内容(概略)

発生確率

- ①二十年以内 六〇から七〇%
 - ②三十年以内 七〇から八〇%
- 地震の規模 マグニチュード七・七
前後

※宮城県沖地震との連動の場合はマ
グニチュード八・〇前後

地震活動の状況

平均活動間隔は百五年程度で、最新
の地震活動から、二〇〇二年一月一
日現在で一〇四・四年経過している

3 宮城県沖地震を想定した強震動 評価

平成十四年十月十五日に発表され
た中間報告の内容(概略)
※簡便法を用いた気仙沼市域の強震
動予測結果

■宮城県沖地震と三陸沖南部海溝寄
り地震が連動した場合
震度五強から震度六弱

地面の揺れを表す震度

(「気象庁震度階級関連解説表」1996年2月より作成)

※この表では通常発生する
現象が記述されているの
で、震度が同じでも、建
物の構造や地形により、
被害が異なる場合があります。
※網の部分は、本地域で想
定される震度です。

震度	人間	屋内の状況	木造建物
0	人は揺れを感じない。		
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	
4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	
5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビなどが落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が開く。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が開けて飛ぶことがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。

今回は「いざ」という時の
ために：津波編(PART1)
と題して、津波発生時における
対策などについてお知らせしま
す。
問合せ先
市総務課危機管理室防災交通安
全係 ☎(22)6600内線22